

# がん医療に携わる看護研修事業 平成25年度予算案 0.2億円

## (背景)

- ・がん治療の多様化(放射線治療・化学療法・手術療法・緩和ケアなど様々)と看護業務の多様化(外来化学療法の導入やがんの告知や病状説明などが外来業務へと移行してきていることなど)を背景に、がん看護へのニーズは高まっているが、実施される教育(教材なども含めて)が均一化されておらず、教育の質が担保されていない。
- ・さらに「がんと診断された時からの緩和ケア」を実現するためには、医師だけでなく看護師等によるケアの充実が求められている。

## (目的)

- ・本事業では関連団体と協力し、専門看護師や認定看護師をはじめとするがん看護を専門とする看護師等による院内教育を充実させるため、指導者教育のための研修会を実施し、受講した看護師ががん診療連携拠点病院等において他の看護師等を教育することによりがん看護の質を向上させることを目的とする。

委託先:日本看護協会を想定

教材の作成  
教育技法の普及  
→ 指導者研修会の実施



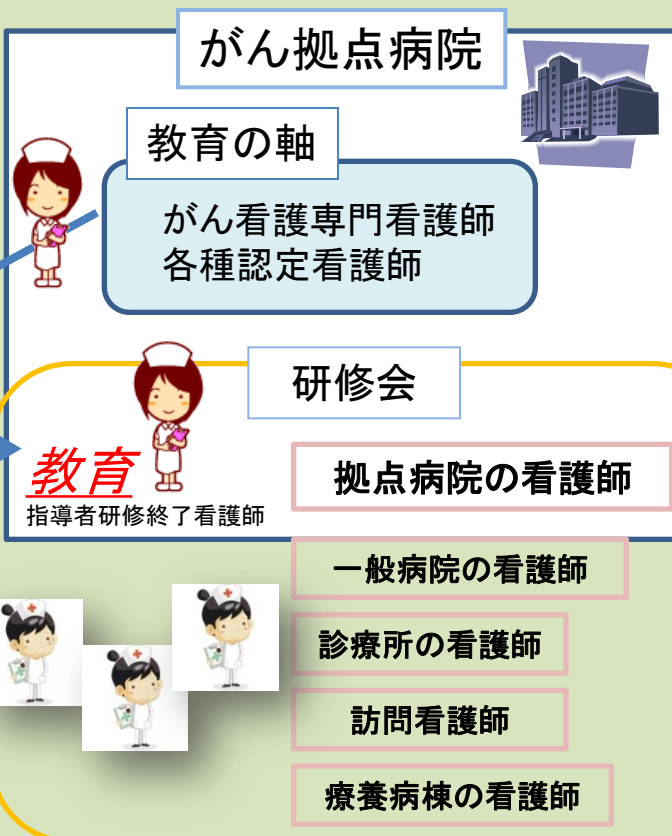
## 指導者研修会

- ・緩和ケア
- ・がん性疼痛看護
- ・がん化学療法看護
- ・がん放射線療法看護
- ・乳癌看護

※受講者は  
・専門看護師  
・認定看護師等  
を想定。

教材(標準化されたテキスト等)を提供。

受講



## がん看護の ニーズの増加

- ・がんと診断された時からの緩和ケア
- ・がん治療の多様化  
化学療法  
放射線治療  
手術療法  
緩和ケア  
業務の外来移行  
病状説明・告知

現場を支える